

西諸県地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年4月 西諸県農林振興局
（西諸県農業改良普及センター）

目次

- I 管内農業・農村の主な動き (P 2～3)
 - 1 経営分析研修会の開催
 - 2 4月期子牛郡品評会が開催
 - 3 小林市野尻町総合共進会が開催
 - 4 第49回高原町総合畜産共進会が開催
 - 5 第21回小林市総合畜産共進会が開催
 - 6 JAみやざきえびの市地区本部子牛品評会
 - 7 第1回水稲栽培講習会の開催
 - 8 JAえびの市ピーマン部会定期総会の開催
 - 9 小林市果樹農業振興推進対策協議会及びJAこばやし梨ぶどう生産部会 役員会
 - 10 JAこばやしマンゴー部会 出荷講習会

- II 主な普及指導活動等の取組み
 - 1 地域プランに事づく普及活動 (P 4～5)
 - 1 こばやし里芋生産部会定期総会の開催
 - 2 畑かん関連の協議会総会が開催
 - 3 「みずサポ隊」による散水器具の説明
 - 4 JAみやざきこばやしマンゴー部会での新規担い手研修開始
 - 5 JAこばやし促成きゅうり現地巡回及び生育調査を実施
 - 6 西諸県地区果樹技術員会総会、第1回定例会
 - 7 西諸県地区普通作物振興技術員会の開催

 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P 6～7)
 - 1 就農相談会を開催
 - 2 新規就農者に対するフォローアップ支援を実施
 - 3 一番茶前茶園巡回の実施
 - 4 JAこばやし花卉部会の定例会が開催
 - 5 花の駅生駒高原に花きを植栽
 - 6 西諸県地区ラナンキュラス栽培講習会を開催

I 管内農業・農村の主な動き

1 経営分析研修会の開催

24日に、えびの市SAP会員を対象に経営分析研修を開催しました。3月に実施した過去の振り返りを踏まえて立てた今年度計画をより具体的に進められるよう資金繰りや労働力の配分などの目標を立てました。

目標達成のための経営課題への向き合い方も見えてきており、解決に向けた具体的な取組とKPIを設定し、引き続き取組を支援していきます。

2 4月期子牛郡品評会が開催

7日に、小林地域家畜市場において、JAみやざき西諸県家畜市場運営部主催による令和8年4月期子牛郡品評会が開催されました。

4月11日から13日に開催される4月期子牛セリ市に出荷される雌子牛のうち、市町子牛品評会を経た55頭が出品され、審査の結果、優等賞に9頭、尙等賞に22頭、式等賞に24頭が選ばれました。なお、優等賞首席は小林市の中島ちどりさん出品の「さやか」号（父：桃白鵬）、2席は高原町の石山翔平さん出品の「もみじつるひめ1」号（父：桃白鵬）、3席は小林市の立山健二さん出品の「ひかる1522」号（父：福晴茂）が受賞されました。受賞牛は、発育良好、輪郭鮮明、幅、深さ、長さ、体積が充分との講評でした。



【優等賞首席「さやか」号】

3 小林市野尻町総合共進会が開催

2日に、松山家畜検査場において、令和8年度小林市野尻町総合畜産共進会が開催され、雌子牛の部に22頭の出品がありました。優等賞首席は川久保信也さん出品の「ななみ」号（父：美津秋）、2席は下村美輝さん出品の「ひなじょ208」号（父：桃白鵬）が受賞されました。また、同日に家畜の供養と家内の繁栄を祈願する馬頭観音祭が開催され、厳粛に神事が執り行われました。



【優等賞首席「ななみ」号】

4 第49回高原町総合畜産共進会が開催

3日に、高原町畜産振興センターにおいて、第49回高原町総合畜産共進会が開催され、和牛と乳牛合わせて71頭の出品がありました。

肉用種牛の部は内村芳照さん、乳用種牛の部は清水豊さんがグランドチャンピオンを獲得されました。また、(株)ミヤチク高崎工場において開催された肉牛枝肉の部では18頭の出品があり、池田常廣さんが首席を受賞されました。



【乳用種牛の部グランドチャンピオン受賞牛】

5 第21回小林市総合畜産共進会が開催

4日に、小林地域家畜市場において、第21回小林市総合畜産共進会が開催され、和牛と乳牛合わせて85頭の出品がありました。

和牛の部は里岡広章さん、乳牛の部は温水聖さんがグランドチャンピオンを獲得されました。また、(株)ミヤチク高崎工場において開催された枝肉の部では46頭の出品があり、(有)馬場牧場が金賞を受賞されました。



【乳用種牛の部 受賞牛】

6 JAみやざきえびの市地区本部子牛品評会

6日、畜産センターにおいて子牛品評会が行われ、優等首席は伊塚公俊さん出品の「もも」号（父：桃白鵬）、2席は入佐幸男さん出品の「なつみ」号（父：桃白鵬）が受賞されました。

また、同日に家畜の供養と家内の繁栄を祈願する馬頭観音祭が開催され、厳粛に神事が執り行われました。



【優等賞首席「もも」号】

7 第1回水稲栽培講習会の開催

23日及び24日、JA高原支店、JA野尻支店、JAえびの、須木ふれあいセンター及び普及センターにて、第1回水稲栽培基礎講習会を開催し、当管内の生産者43名が参加しました。

講習会は、水稲栽培管理の前半（土作り・移植・除草剤・中干し）について基礎的な内容を説明しました。

7月頃に行う第2回では、水稲栽培管理の後半を説明する予定です。



【講習会を受ける生産者】

8 JAえびの市ピーマン部会定期総会の開催

27日に、JAえびの市ピーマン部会の定期総会が開催されました。議事では、令和7年度の実績と令和8年度の計画等が報告され、すべて可決されました。

夏秋ピーマンは3月から栽培が始まっていますが、4月の天候不順により苗の生育が厳しい状況が続いています。これから梅雨時期に入りますので、生育初期のかん水や肥培管理について重点的に指導を行っていきます。



【あいさつをする部会長】

9 小林市果樹農業振興推進対策協議会及びJAこばやし梨ぶどう生産部会 役員会

7日に、小林市役所にて役員会が開催され、役員及び関係機関合わせて11名が参加しました。役員会では、5月のブドウ梨管理講習会について話し合い、5月12日の開催が決定しました。

これからはブドウと梨の重要な管理時期となるため、講習会や個別巡回にて指導を行っていきます。

10 JAこばやしマンゴー部会 出荷講習会

13日に、JAこばやしマンゴー選果場にて出荷講習会が開催され、生産者及び関係機関合わせて35名が参加しました。

JA担当者から情勢報告や出荷要領について説明があり、普及センターからは、病害対策及び細根調査のお願いについて説明をしました。細根調査に関しては、後期出荷型の花芽の発生状況が不調であるため調査を行うものです。

6月頃から調査を実施予定であるため、準備をしています。



【普及センターからの説明】

II 主な普及指導活動等の取組み

1 地域プランに事づく普及活動

(加工・業務用野菜を核とした力強い畑作産地づくり)

1 こばやし里芋生産部会定期総会の開催

30日に、JAこばやし管内の里芋生産部会の定期総会が開催され、生産者22名が参加しました。

資材高騰の中、前年度は部会の目標反収に達し、高単価で推移していることから、生産者の励みとなっているようです。

普及センターからは、種芋生産・供給の強化に向け、優良種芋の保存・選抜に関する支援を行っていくことや、サトイモ疫病対策の啓発など、適時、必要な情報を届けられるよう活動する旨を紹介しました。

2 畑かん関連の協議会総会が開催

21日、KITTO小林において、「西諸地区農業水利総合開発事業促進協議会」及び「小林市畑地かんがい事業推進協議会」、23日に高原町ほほえみ館において「高原町畑地かんがい事業推進部会」の総会が開催されました。

総会終了後、普及センターからは畑かん営農に関する情報提供を行いました。

今後も関係機関と連携して、畑かんを利用した営農の推進を進めてまいります。



【普及センターによる情報提供の状況】

3 「みずサポ隊」による散水器具の説明

27日、小林市東部地区において、散水器具の導入に併せ、器具の営農利用と「みずサポ隊」の活動説明を行いました。

今回導入した生産者は、夏場の干ばつ時の営農利用を考えているので、設置時期や散水する時間帯の具体的な解説を行っています。

今後とも「みずサポ隊」による積極的な畑かんの営農利用を進めてまいります。



【散水器具の導入説明の状況】

(先進技術の導入等による高品質・高収益な園芸産地づくり)

4 JAみやざきこばやしマンゴー部会での新規担い手研修開始

1日、きりしま農業推進機構が実施するJAみやざきこばやしマンゴー部会の担い手確保に向けた2年間の研修が開始され、部会生産者の農場において最初の1組(2名)となる研修生の受入が行われました。また、13日には、マンゴー部会員や地域関係機関の参加による入構式及び歓迎会が行われました。

今回、受入れを行った研修生については、きりしま農業推進機構による定期的な相談対応の機会を設け、研修中に出てきた課題を関係機関で共有しながら、研修後の就農に向けた各種支援を行う予定です。



【研修生受入れの入構式】

5 JAこばやし促成きゅうり現地巡回及び生育調査を実施

16日に、JAこばやし管内の促成きゅうり部会の全戸巡回及び生育調査を実施しました。巡回にはJA、種苗メーカー、天敵メーカーも参加し、それぞれから指導や助言を行いました。

生産者からは、曇天が続く中で良い生育にするためのかん水や肥培管理について質問があり、生育状況に合わせた管理の助言を行いました。促成きゅうりは6月まで収穫が続きますので、引き続き気温上昇に対応したかん水管理などについて指導を行っていきます。



【生育状況を確認する指導員】

6 西諸県地区果樹技術員会総会、第1回定例会

15日に、普及センターにて西諸県地区果樹技術員会総会及び第1回定例会が開催され、関係機関19名が参加しました。

総会では令和7年度事業実績及び収支決算、令和8年度事業計画及び収支予算について可決されました。令和7年度は、マンゴー・ブドウ・キンカンの生産者ほ場見学を新たに実施し、現地状況を知ることができました。

今年度も現地見学や展示圃の設置等を行いながら、地域プランに掲げたクイーンニーナの着色向上やマンゴーの炭酸ガス発生装置を活用した高品質な果実生産にむけて関係機関とともに活動していきます。

(気候変動に対応した持続性の高い水田農業の確立)

7 西諸県地区普通作物振興技術員会の開催

17日、普及センターにおいて、第1回西諸県地区普通作物振興技術員会を行いました。

新品種である「ひなた舞」の特A展示ほ場の設置や、西諸版の栽培暦の内容について協議を行い、「ひなた舞」の今後の方向性を確認しました。

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 就農相談会を開催

9日、小林市で肉用牛繁殖経営での就農希望の方1名、24日、えびの市で有機農業の稲作等での就農希望の方1名及び高原町で肉用牛繁殖経営での就農希望の方1名に対してそれぞれ就農相談会を開催しました。

えびの市と高原町の方については、はじめての相談対応で、将来の就農ビジョンの確認と就農に向けた現状の確認と就農計画を作成する上で必要な事項の整理が行われました。今後もそれぞれの目指す経営計画の策定を引き続き支援していきます。

※就農相談対応 3名3回

(内訳 小林市：肉用牛繁殖1名、えびの市：稲作・露地野菜1名、高原町：肉用牛繁殖1名)

2 新規就農者に対するフォローアップ支援を実施

28日に、えびの市いちご団地にて、いちごのモデル農家1戸を対象とした検討会を開催しました。会にはJA営農指導員と普及センターの担い手担当、園芸担当が参加し、現地の圃場を確認の上、令和7年の決算書の経営分析結果をもとに昨年の振り返りと今後の目指すべき経営について助言を行いました。

生産者からは「管理作業の遅れが経営悪化につながっていることを認識でき、改善をしていきたい」ともコメントをいただだけ、経営を見つめ直す良いきっかけになりました。引き続き関係機関と連携しながら、経営改善に向けた支援をしていきます。



【現地確認後の検討会】

3 一番茶前茶園巡回の実施

2日、西諸茶業青年会の一番茶前茶園巡回が行われ、生産者5と関係機関5名の計10名が参加しました。

今回の巡回では、各茶園における生育、病虫害発生状況及び摘採予測日などを確認し、今後の管理等について意見交換が行われました。

巡回時の生育は、平年より2日程度早く推移しており、霜害等による大きな被害もありませんでした。



【茶園巡回の状況】

4 JAこばやし花卉部会の定例会が開催

2日に、小林市管内においてほ場巡回及び定例会が開催され、生産者3名と関係機関5名が参加しました。

ほ場巡回では生育が順調なものの、一部で病害が発生していることが分かりましたので、防除等の助言をしました。巡回後の定例会では、JAから情勢報告があり、春彼岸での厳しい販売状況について報告されました。普及センターからは、アザミウマ等の発生予防や農作業安全対策について説明しました。参加者からは、病害防除のポイント等について質問があったので、後日情報提供しました。



【生育状況を確認する参加者】

5 花の駅生駒高原に花きを植栽

16日に小林市内の鉢苗物生産者2名と市や県の担当者6名が参加し、昨年度に整備したフォトスポット用の花壇に、夏秋の花き苗を植栽しました。これは、生駒地区で進行中の「生駒地区内での花いっぱいプロジェクト」の一環です。新たに植栽した花は4種類で、いずれも管内で生産されました。

今後もプロジェクトメンバーを中心に、花の管理を実施します。花きで生駒地区の活性化につながるように、生産者や関係者と連携して取り組みます。



【花苗を植栽する参加者】

6 西諸県地区ランタンキュラス栽培講習会を開催

21日に普及センターで開催し、生産者6名と関係機関7名が参加しました。

現在、ランタンキュラスは収穫が終了し、球根作りの重要な時期となるため毎年実施しています。今回は、腐敗させないための球根養成から保管までの管理と、次作に向けた土壌消毒等について説明し、参加者からは還元土壌消毒法の方法等について質問がありました。

講習後は、他県の優良な育苗事例等について情報提供し、次作の課題や解決策等について意見交換しました。定植初期の高温期の管理など、解決に向けて支援します。



【講習する普及指導員】